

町外への移動支援



えんどう りょうこ 議員

遠藤 来年4月から三春病院の休業にともない、町外の医療機関を紹介された方の移動支援をどのように考えているか。

保健福祉課長

自家用車での移動や親族などによる送迎が困難である場合、既存の公共交通機関や定額乗合タクシー「こまシェア」などの移動サービスを利用していただきたい。

遠藤

住民説明会において、移動支援に関して前向きに考えていきたいと述べていたが、ぜひとも三春病院の玄関口を待合場所として運行願いたい。

保健福祉課長

公共交通機関などの利用が困難な場合には、実施期間を定めたくて検討していきたい。



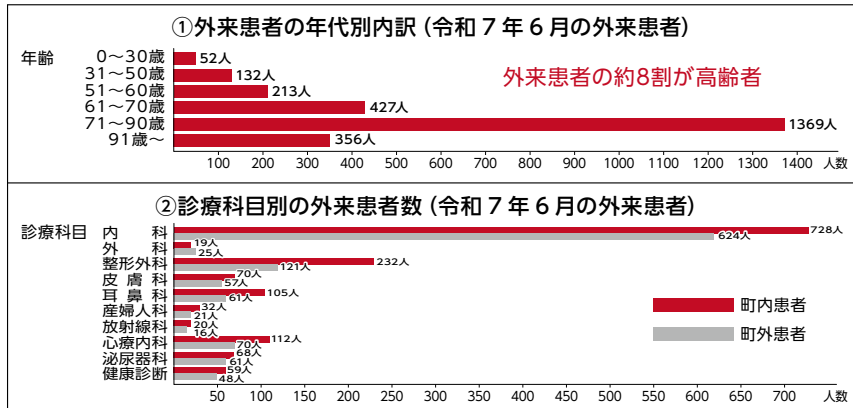
質問者の録画映像はこちらから

A

関係機関等と協議していく

Q

星総合病院への移動支援は



患者の内訳 (令和7年10月28日住民説明会資料より)

古いライフラインは



しのざき さとし 議員

篠崎 配管が古くなって、漏水が起る危険な場所はないのか。

企業局長

法定耐用年数40年を超えている上水道管は、全体の約6%となっている。下水道管では耐用年数が50年を超えているものはない。

篠崎

万が一、漏水が発生して道路が陥没したときの最初の対応は。

企業局長

業務時間内であれば、職員が直ちに現場対応する。休日の場合は、当番制で職員の待機体制を取っている。夜間は緊急連絡体制により、連絡を受けた職員が対応する。漏水の状況により、道路管理者等関係機関に連絡を取り、通行止めへの対応を行う。また、状況により断水や水圧を弱める措置を取る。

篠崎

漏水の修繕に対し年間予算はどのくらい見込んでいるのか。



質問者の録画映像はこちらから

A

職員が現場を確認し必要な対策を取る

Q

事故が起きた場合の確認体制は



石綿セメント管

企業局長

令和7年度予算で、900万円を見込んでいる。

篠崎

町内で石綿セメント管を使っているところはないのか。

企業局長

新町地内の一部と、沼之倉地内の一部に残っているため、計画的に更新していきたい。